

AXA Group Key Figures

AXAは1817年にフランスで生まれ、世界のお客さまから信頼をいただいている世界最大級の保険・金融グループです。



世界に 約 **5,000** 万人の顧客

世界に 約 **11万2,000** 人の従業員

総売上 約 **9兆 5,628** 億円 (約722億ユーロ)

アンダーライニング・アーニングス 約 **3,576** 億円 (約27億ユーロ)

純利益 約 **3,311** 億円 (約25億ユーロ)

運用資産総額 約 **119兆2,007** 億円 (約8,690億ユーロ)

S&P 保険財務力格付け **「AA⁻」**

数値は2004年AXAグループ実績

換算レート

総売上、アンダーライニング・アーニングス、純利益: 1ユーロ = ¥132.45 (2004年平均)

運用資産総額: 1ユーロ = ¥137.17 (2004年末)

標記の格付けは2005年6月21日時点のAXAグループの主要な保険子会社に対する評価であり、将来的には変化する可能性があります。

また、格付けは格付機関の意見であり、保険金支払い等についての保証を行なうものではありません。

CONTENTS

01 アクサジャパンの事業概況 4

2004年度決算ハイライト

02 アクサジャパンのフィナンシャル・プロテクション 8

03 顧客満足度向上への取組み 10

VOCプログラム

- VOCから生まれたソリューション 1(システム開発) 12
- VOCから生まれたソリューション 2(新商品の開発) 14
- VOCから生まれたソリューション 3(教育研修制度の見直し) 18
- VOCから生まれたソリューション 4(カスタマーサービスセンターの拡充) 20
- 情報提供について 21

04 企業としての責任 22

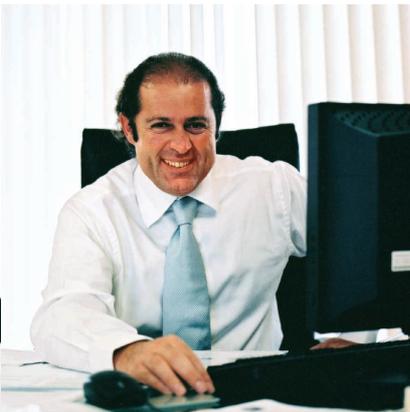
- リスク管理への取組み 22
- コンプライアンス体制 23
- 顧客情報の保護について 24
- 社会貢献活動 25

資料編 26

- ・ 保険会社の概況及び組織 27
- ・ 保険会社の主要な業務の内容 34
- ・ 2004年度における事業の概況 34
- ・ 直近5事業年度における主要な業務の状況を示す指標 35
- ・ 財産の状況 36
- ・ 業務の状況を示す指標等 47
- ・ 保険会社の運営 66
- ・ 特別勘定に関する指標等 66
- ・ 信託業務に関する指標 69
- ・ 保険会社及びその子会社等の状況 69
- 保険商品一覧 70
- 企業概要 76
- 営業店網 77
- 開示基準項目索引 83



白金アエルシティ NBFプラチナタワー(仮称)



AXAの目標は、

生涯にわたってお客さまのニーズに確実に応えるサービスを提供し、
ファイナンシャル・プロテクション分野におけるリーダーとなる、ということです。

AXAは1817年にフランスで生まれ、現在では世界5,000万人のお客さまに信頼をいただいている世界最大級の保険・金融グループです。世界各国で生命保険、損害保険、貯蓄、資産運用などのサービスを、個人から中小企業、大企業など、あらゆるタイプのお客さまのニーズにあわせて提供することをコアビジネスとしています。

AXAの目標は、生涯にわたってこうしたお客さまのニーズに確実に応えるサービスを提供し、ファイナンシャル・プロテクション分野におけるリーダーとなる、ということ。世界に広がるすべてのAXAのメンバーカンパニーが、この共通の目標の実現を目指して日々努力を続けています。

日本では1994年にアクサ生命を設立、2000年には日本団体生命を統合し、日本に強固な顧客基盤を持つ外資系生命保険会社として、AXAが世界で培ってきた知識と経験を活かして、日本のお客さまに最適な商品・サービスを開発し、提供することに力を注いできました。

2004年度の業績には、こうした私たちの取組みの成果が現われています。アクサジャパンは2004年度、力強い成長と大幅な増益を実現することができました。

顧客ニーズに基づいた新商品の投入によって、新契約は大きく伸びました。また、顧客サービスプロセス全体の見直しを行ない、解約・失効率を大幅に改善することができました。さらに資産ポートフォリオの管理に好機を逃さないアクティブな手法を採用し、運用収益についても大幅な改善を実現することができました。

成長性、収益性の大幅な強化、また解約・失効率の良化は、私たちの取組みがお客さまに理解をもって受け止められ、大きなご支援をいただいていることの証であると自負しています。この場をお借りして、お客さま、そして全国の商工会議所をはじめとするビジネスパートナーの皆さま方に、心から御礼申し上げます。また、これはアクサジャパンのすべての社員の強いコミットメントと献身なしには実現しえなかったことを申し添えておきたいと思えます。

2005年10月、アクサ生命とアクサ グループライフ生命の合併を行います。また、2006年1月には本社機能を港区白金に移転・集約し、経営のさらなる効率化とスピードアップを図ります。

アクサジャパンは新たな地、新たな体制で、一層の顧客満足度の向上に努め、日本市場での持続的な事業拡大を目指していきます。

アクサジャパンの一層の躍進にご期待ください。

2005年8月

アクサ ジャパン ホールディング株式会社
代表取締役社長

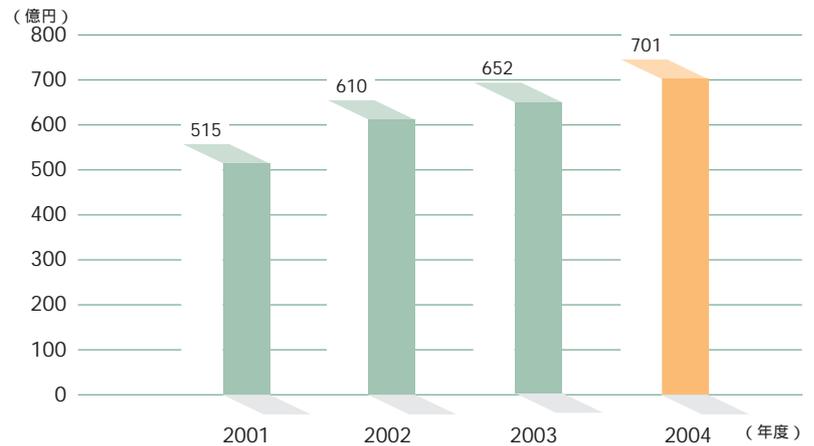
フィリップ・ドネ

アクサジャパンの事業概況

2004年度決算ハイライト

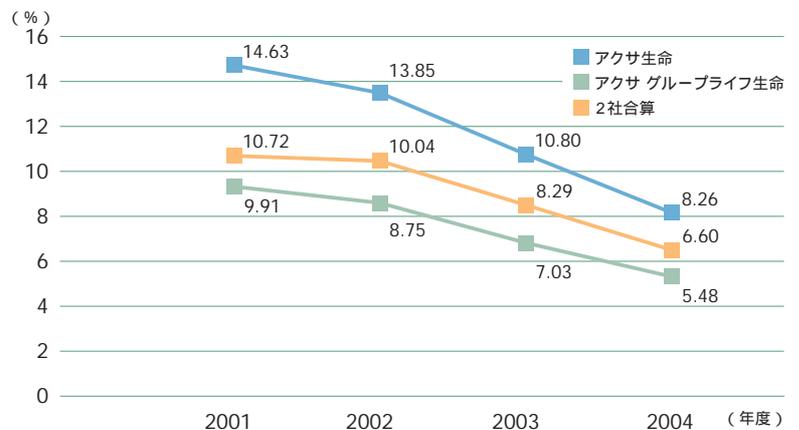
個人保険・個人年金保険の年換算新契約保険料の推移

アクサ生命、アクサ グループライフ生命2社合算で701億円と、前年度の652億円から7.6%増加しました。内訳としては、定期系の商品が25.2%増の340億円、第三分野系の商品が21.3%増の165億円となりました。



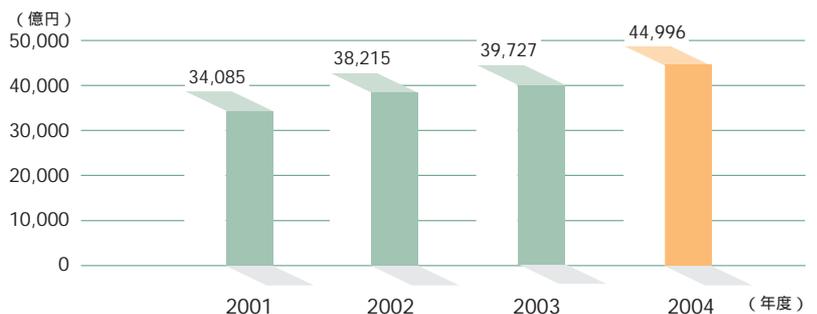
個人保険・個人年金保険の解約・失効率の推移

アクサ生命、アクサ グループライフ生命2社合算の解約・失効高は9,503億円(前年度比76.7%)となり、年始保有契約高に占める解約・失効高の割合を示す解約・失効率は、引き続き大幅に低下しました。新契約高の増加と解約・失効高の減少により、2社合算の保有契約高は前年度末比100.2%と純増加に転じました。



総資産の推移

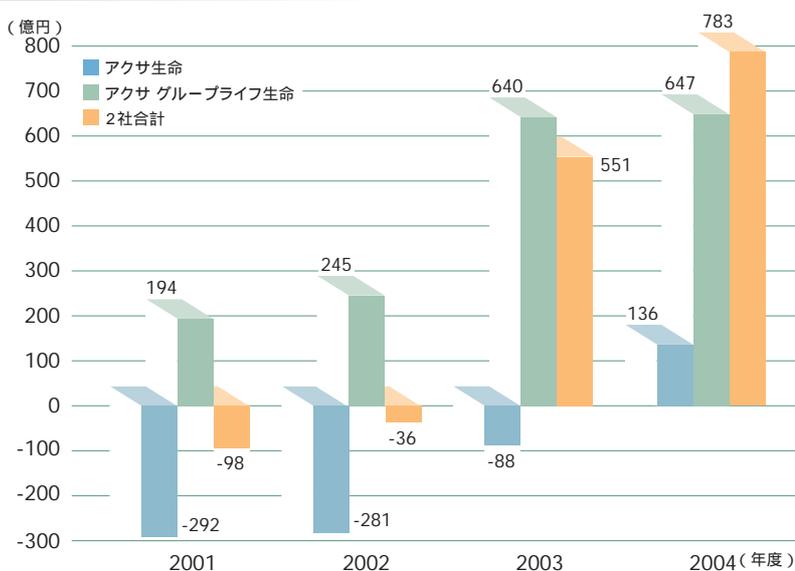
アクサ生命、アクサ グループライフ生命2社合算の総資産は、前年度末比13.3%増の4兆4,996億円となりました。



AXAの日本における生命保険事業部門であるアクサ生命、アクサ グループライフ生命両社は、2004年度力強い成長と大幅な増益を実現しました。

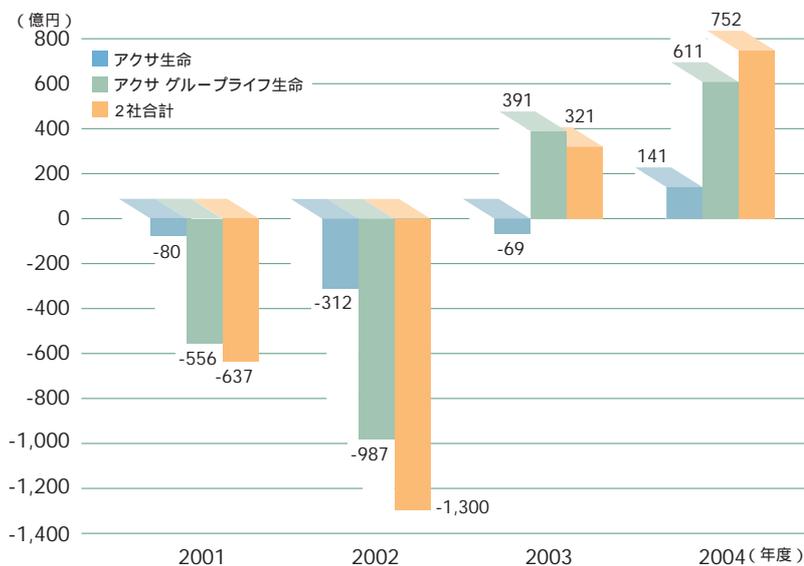
基礎利益の推移

本業の収益力を示す基礎利益は、アクサ生命が136億円(前年度 88億円)、アクサ グループライフ生命が647億円(前年度640億円)となり、両社とも増加しました。
 なお、両社とも逆ざやは発生していません。



純利益の推移

純利益は、アクサ生命が対前年度210億円増の141億円、アクサ グループライフ生命が同220億円増の611億円と、両社とも大幅な増益となりました。





アクサ生命の資産の状況

アクサ生命の総資産は、前年度末比51.1%増の8,173億円となりました。

アクサ生命 貸借対照表(抜粋)

(単位:百万円)

科目	年度	2004	2003	科目	年度	2004	2003	
		(2005年3月31日現在)	(2004年3月31日現在)			(2005年3月31日現在)	(2004年3月31日現在)	
資産の部	現金及び預貯金	11,345	10,180	負債の部	保険契約準備金	692,817	491,043	
	コールローン	18,261	48,000		代理店借	836	780	
	債券貸借取引支払保証金	53,507	—		再保険借	2,361	1,128	
	金銭の信託	112,371	80,909		その他負債	78,373	17,323	
	有価証券	576,503	338,225		退職給付引当金	10,715	8,600	
	貸付金	9,933	11,581		価格変動準備金	917	476	
	不動産及び動産	1,176	1,279		負債の部合計	786,021	519,354	
	代理店貸	13	12		資本の部	資本金	60,500	60,500
	再保険貸	5,171	2,015			資本剰余金	—	60,500
	その他資産	20,069	37,232			利益剰余金	30,494	105,150
	繰延税金資産	9,093	11,645			株式等評価差額金	1,348	5,842
	貸倒引当金	70	38		資本の部合計	31,354	21,691	
資産の部合計		817,375	541,045	負債及び資本の部合計		817,375	541,045	

格付けについて

AA-

2005年6月21日、S&Pはアクサ生命、アクサ グループライフ生命の保険財務力格付けを「AA-」として据置き、アウトルックを“ネガティブ”から“安定的”に引き上げました。これは、両社の自己資本基盤と業績が改善していること、解約・失効率が大幅に改善し、保有契約高が増加に転じるなど、2000年に日本団体生命から引き継いだ顧客基盤の安定化が進んでいることなどに基づいています。

標記の格付けは2005年6月21日時点の評価であり、将来的には変化する可能性があります。また、格付けは格付機関の意見であり、保険金支払い等についての保証を行なうものではありません。

ソルベンシー・マージン比率

1207.2%

アクサ生命の経常収支の状況

保険収支は、保険料等収入が2,986億円、保険金等支払金が469億円と堅調に推移しました。
 資産運用収支は、資産運用収益が大幅に増加して463億円、資産運用費用が162億円となりました。
 なお、事業費にはアクサ グループライフ生命からの業務受託に伴う費用271億円が含まれています。

アクサ生命 損益計算書(抜粋)

(単位:百万円)

科目	年度	2004	2003
	(2004年4月1日から2005年3月31日まで)	(2003年4月1日から2004年3月31日まで)	
経常損益の部	経常収益	372,608	333,335
	保険料等収入	298,634	284,670
	資産運用収益	46,382	20,783
	その他経常収益	27,591	27,881
	経常費用	352,627	345,033
	保険金等支払金	46,954	35,939
	責任準備金等繰入額	201,773	207,621
	資産運用費用	16,228	5,997
	事業費	80,366	75,745
	その他経常費用	7,305	19,729
	経常利益(または経常損失)	19,980	11,697
特別損益の部	特別利益	0	7
	不動産動産等処分益	0	1
	貸倒引当金戻入額	—	6
	特別損失	542	1,087
	不動産動産等処分損	68	94
	価格変動準備金繰入額	440	357
	その他特別損失	34	636
	税引前当期純利益(または税引前当期純損失)	19,437	12,777
	法人税及び住民税	177	173
	法人税等調整額	5,103	6,032
	当期純利益(または当期純損失)	14,156	6,918
	前期繰越損失	44,650	98,232
	当期末処理損失	30,494	105,150